

平成 26 年 6 月  
一般社団法人情報サービス産業協会

情報処理技術者試験の組織的活用策等に関する IPA による  
JISA 会員向けの訪問説明(ご案内)

昨年 6 月に閣議決定された「世界最先端 IT 国家創造宣言」において、高度 IT 人材育成に関し「国家試験活用の促進等の企業における人材育成基盤整備を行う」等が明記されています。これを踏まえ、(独)情報処理推進機構(以下「IPA」という。)では、企業等における情報処理技術者試験の一層の活用を図るべく取組の強化を進めており、その一環として、このたび IPA 情報処理技術者試験センター担当者が、希望する JISA 会員企業の担当者様を訪問し、組織的な受験状況の管理に資する「団体経由申込み制度」や IT パスポート試験の受験料を一括して支払うことができる「バウチャーチケット制度」など同試験に関する最新情報の説明や同試験に関する各種相談に応じていただけることになりました。

情報処理技術者試験は、昨今の情報セキュリティの重要性の高まりを踏まえ、平成 26 年度から同試験の全試験区分において、「情報セキュリティ」に関する出題の強化・拡充を図るなど、より時代のニーズにマッチした内容になっています。7 月 14 日(月)から、平成 26 年度秋期情報処理技術者試験の申込が開始されますので、これを機会に情報処理技術者試験について理解を深め、同試験を会員企業の皆様の IT 人材育成にお役立ていただければ幸いです。

つきましては、同試験の組織的活用策等についてご関心のある会員の皆様には、是非この機会に下記 1. の連絡先にお申し込みいただき、このたびの IPA による訪問説明の機会を活用されますようご案内申し上げます。

記

1. 連絡先(申込み先)

IPA IT 人材育成本部 情報処理技術者試験センター 広報担当(原田、萩原)  
Mail [PR@jitec.ipa.go.jp](mailto:PR@jitec.ipa.go.jp) 電話番号 03-5978-7608

2. 訪問説明での主な内容

(1) 情報処理技術者試験 団体経由申込み制度

団体経由申込み制度は、申込みから成績情報、受験結果の確認までを一括管理でき、利便性が高いことから、現在企業・学校の約 1,000 団体に利用されて

いる制度です。

利用した場合、団体担当者に受験者の成績情報や選択分野等が提供されます。受験者の成績や受験時の選択分野、選択プログラム言語を把握することによって、習熟度や特性に応じた教育カリキュラムの構築が可能となり、より効果的・効率的な指導に役立ちます。さらに、インターネット経由で申込みを行うと、受験結果がテキストデータとして団体担当者にメールが配信されますので、分析等様々な用途に活用できます。

## (2) ITパスポート試験 バウチャーチケット制度

バウチャーチケット制度は、ITパスポート試験の受験料を一括で支払いができる電子的な前売りチケットです。購入により、担当者向けの「成績情報提供サービス」の利用が可能となり、社内の効果測定等に活用できます。また、1名からのお申し込み・支払いにも対応しているため、少人数から導入しやすい制度となっています。

## (3) 企業における活用事例の紹介その他同試験に関する相談全般

### 【iパス CBT 疑似体験ソフトウェアのご紹介】

iパスの本番試験と同様の操作方法でiパスの公開問題にチャレンジできます。自宅、職場で是非チャレンジしてみてください。

[https://www3.jitec.ipa.go.jp/JitesCbt/html/guidance/trial\\_examapp.html](https://www3.jitec.ipa.go.jp/JitesCbt/html/guidance/trial_examapp.html)

以上